

キャラクター名
フランチエスカ・マルタ・ヴェンデッタ

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	高校生	カヴァー	
	オプション			年齢		
覚醒	無知	衝動	恐怖	初期侵食率	73	%
出自	疎まれた子	経験	海外生活	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:	
ゼウスのきまぐれ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
クロック・ヴァレンティノ	P 友情	N 不信感		
Dロイス: 変異種	P	N		
オーエン	P 好奇心	N 不信感		
たからもの	P 有為	N 不安		
夢の配達人	P 好奇心	N 脅威		
クッキー	P 好意	N 食傷		
うで	P 尽力	N 食傷		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
竜鱗	1	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果:	装甲値+[Lv*10]。組み合わせ不可							
コンセントレイト: キュマイラ	3	2	シンドローム	至近	自身	対決	-	
効果:	メジャーのC値-Lv							
魔獣の本能	★	2	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果:	RCを肉体で判定可能							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	肉体ダイス+[Lv+2]d							
鷹の翼	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中飛行状態&ドッジ+LVd							
魔獣の衝撃	3	2	メジャー	視界	対決	RC	-	
効果:	[攻撃力+5]の射撃攻撃。判定+LVd、ラウンド1回							
リフレックス: キュマイラ	3	2	シンドローム	至近	自身	対決	-	
効果:	リアクションのC値-Lv							
コキュートス	3	4	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	Dロイス	
効果:	攻撃力+Lv*3の射撃。判定-2d							
体型維持	★							
効果:								
獣の直感	★							
効果:								
鋭敏感覚	★							
効果:								
熱感知感覚	★							
効果:								
炎の理	★							
効果:								

PC1: ロイス: クロック・ヴァレンティノ (P: 友情/N: 不信感)
 あなたには親には内緒の不思議な友人がいる。
 学校では一度もあったことのない謎めいた彼、そんな彼から母親の形見の時計と一緒に探してこないかと頼まれる。めったに人を頼らない友人からの頼みをあなたは二つ返事で快諾した。

PC2: ロイス: マリア・ディアマンテ (P: 庇護/N: 自由)
 あなたはクロノスガーディアンメンバーだ。
 今日あなたも宿敵ピーターパンを捕まえるためにワームホール内を巡回していたがふっと気を抜いた瞬間に謎のエネルギー体と衝突しそのままどこかの時代に墜落してしまった。
 そして、その墜落の拍子にうっかり死ぬはずだった人間を一人助けてしまった。

PC3: ロイス: 夜霧の殺人鬼 (P: 自由/N: 恐怖)
 あなたはPC1の友人だ。
 三日前に公衆の面前から忽然と姿を消してしまっただけでPC1を探して街中をさまよっている内に真夏のヴェネチアとは思えないほど霧の濃いもう一つのヴェネチアに迷い込んでしまった。
 帰ろうにも戻る道などどこにもない。
 意を決したあなたは霧の中友人探しを続行する事にした。
 [16:12:55] ボン酢: 太陽かがやく真夏のヴェネチア
 友人からの頼まれ事も投げたしたくなるほどの異様な暑さ
 どこかの木陰で休もうと一歩踏み出すと、気付けばそこは深い深い霧の中。
 投げ出したいとは思っただけれど、誰がここまでやれと言ったか。
 DX3rd edition